

平成 22 年 2 月 13 日(土)

平成 21 年度海岸工学委員会臨時幹事会議事メモ (案)

開催日時：平成 22 年 2 月 13 日(土) 13:00～15:30

開催場所：土木学会 2 階講堂

出席者：灘岡委員長，後藤幹事長，  
青木，岡安，重松，武若，水谷，川崎，小林，栗山，黒岩，佐藤，柴山，諏訪，高木，森屋 各  
委員兼幹事（敬称略）

欠席者（\*は委任状提出者）：今村，横木\*，佐々木\*，富田\*，日向，森\*，渡部\*，柿沼\*，榊山，  
高橋\*，山本，由比\* 各委員兼幹事（敬称略）

出席者+委任状提出者：23名

#### 1) 国際セッションの実施

京都の海岸工学講演会からの英語による国際セッションの実施に関して、「アブストラクトおよび本論文の 2 段階審査を行い，国際セッション講演集(Proc.)を発刊する。国際セッションの論文に関しては J-stage 化は行わず，優秀論文（査読の評点の高いもの）を CEJ に推薦する」との原案に関して審議した。

審議では，具体的な運用に関しても詳細に議論し，実行可能性の高い方法として，論文審査はアブストラクト査読のみとすることで合意した。概略以下のような条件で，英語による国際セッションを試行する。

- ・アブストラクト審査によって論文の採否を決定する。
- ・国際セッション講演集(Proc.)を発刊する（Camera-ready オフセット印刷）。
- ・国際セッションの論文に関しては J-stage 化は行わない。
- ・優秀論文（査読の評点の高いもの）の CEJ 投稿を推奨する。
- ・国際セッションは京都の海岸工学講演会から試行する。

受付 web（準備中）

[http://www.coastal.jp/jcce\\_eng2](http://www.coastal.jp/jcce_eng2)

の記述に関して，以下の点を修正する。

- ・査読方法の説明ページでアブストラクト査読における採点の目安の記述を，海岸工学論文集の受付ページのものと同様にする。
- ・講演集(Proc.)の pdf 版を web で開示することを検討する（対応は広報委員会にて行う）。

今後の対応は以下の通り。

- ・2月14日～19日：委員会メール審議
- ・2月20日：受付ページ公開，cecom へのアナウンスメール送信。
- ・3月1日：アブストラクト受付開始

#### 2) 海岸工学論文集（土木学会論文集 B2（海岸工学））について

- ・土木学会論文集再編を念頭に海岸工学論文集の今後のあり方に関して広範な議論を行った。
- ・編集・査読の技術的問題に関して具体的な改善点を検討した。

1. アブストラクト査読における採点の目安を「平均が 3.5～4.0 点」とする。
2. 論文原稿でのカラー使用を認める。論文集正式版は J-stage と定め，冊子体は正式版のモノクロ複製であると位置付ける。ただし，冊子体は白黒印刷であることから，不必要なカラー使用は自粛するよう著者に求めるが，カラー使用の適否の最終判断は著者責任とする。

3) その他

- ・今後の主要日程について
- ・4月14日(水) 14:00~17:00 幹事会(第1段審査結果確認)
- ・6月18日(金) 14:00~17:00 第1回委員会

(記録:後藤)